夕刊
磐城新聞
九月二日發行
（日曜祭日翌日休刊）

金成通氏に就て

△□生

（一）

貧しき者、弱き者として生れ、正しく強く伸びて、今や泥中の蓮華と咲かんとす。

氏は、二十六歳にして株式會社磐東銀行事務取締役三十二歳にして福島縣會議員、四十三歳にして石城郡所得税調査委員、全時に福島縣選出(各縣一人)仙臺局所得税審査員となつた。全じく四十三歳の時には植田水電を創立して其社長となり、是より先き縣會議員を止め、續いて所得税調査員も磐東銀行事務も止めたが然し一日として休む事なく日夜緩みなく刻苦勉勵して植田水電社長室に營々として十年間働いて居たが曩に衆議院議員候補者にも三度豫選會で全會一致で決定せられて遂に固く斷り通した

然し今度は推される儘に敢然と乘り出した氏の胸底には何物か深く強く決した所が無ければならぬ、其れを知る前に先づ氏が經歴した刻苦の五十三年を觀やう

氏は、明治十二年六月多賀郡の舊家蛭田源三郎氏の二男として生れた、氏の母方の祖父鈴木權次郎氏は水戸藩の學者であつたが、故あつて後に幕府に仕へ三百石を食んだ傑物であつたと聞く。蛭田源三郎氏も亦戸長代理を務めた地方の有志であつた、其等武士氣質な仁義に富む血が氏の心骨深く泌み込んでゐるのであろう。

少年時代には腕白で手に負へなかつた。學校歸りには風呂敷を頸に縛つて喧嘩をして居たと今でも老人連は話して居る。然し頭腦明晰で二年から四年へ、四年から六年へ飛んで進級した其後、落合塾に學び、後東京に出て二年間商業學を修めた。其後炭城採炭株式會社に勤務して社長阿部吾市氏（前東京實業聯合會副會長）の認むる所となり、其下で營々として働いたが或事情の下に上役の退職に殉じて浪人となつた。

阿部氏の居室には其れ以來永く氏の寫眞が其の居室を飾つて居た事と、先年阿部氏が態々植田町へ來て講演をなし、且植田水電の發電所を見學して其隆々たる發展を我事の様に悦んだ事とは共に人情美の發露として當時新聞の傳へた所である。

斯くて浪人となつた氏は文官試驗を受く可く、法律を學んだが、故あつて近親金成竹太郎氏の養嗣子と爲り二年間は農夫となつて田畑を耕し、一方青年團幹事に選ばれ農村中堅青年として眞面目に働いた。然し、氏は一農村青年として甘んずるには餘に野望に燃え、青雲の志は抑へんとして抑へ切れなかつた。遂に再度上京し、經濟、統計及簿記等を修めて歸郷した時には胸に固く決する或ものがあつた。即ち、氏は實業家として立たうと決心したのである。氏の炯眼は將來の活動の天地は經濟に在りと看破したのであつた。

斯くて明治三十八年、二十六歳の時に豪農江尻博孝氏を説いて磐東銀行の創立に着手し、彼を其の頭取たらしめ、自からは其常務となり、知人親戚を説いて株主たらしめ株式會社を創立した。既に二十八年前株式會社の利を觀取し之が創立に着手した事は、確かに達見であつた。而も二十六歳の青年であつた。少にして大蛇の素質が有つたのかも知れぬ。

破魂集

鎌田信一

○思い出の飯野の山よ　谷川瀬の作場の道よ青嵐ふく

○弘源寺などと記せる山寺に　ふと上り來てしばし憩へり

○君が名を仁井田の濱の磯砂に百度か書き逢に泣きけり

○思ふさま仁井田の濱の雨にぬれ　その傷心に泣くか信一

時代警語

○物事の位の正しき處が天道に候(澤庵和尚)

現に在る如く在るのが自由意志以外の天命に由るとすれば人は現に在る處に安んじてそれに相應した行動を執らなければならぬこれが最も安全なる生活法である……

社會の今日

9月3日

△節明參加の祝酒を廢す(明治二)△郵便規則改定(同七)△關東大震災に付畢上一千萬圓下賜(大正一二)△露國九千キロに亘る大航空路を設定す(昭和四)△南京政府士外交總長中村大尉虐殺事件を日本の虚構と聲明す△オートラリア外相ショーベル氏、歐洲聯盟案調査委員會で獨墺關税同盟撤回を聲明す(同六)

○

大門は早とざしけり古葉散る　大竹村の七日月かな　佐々木信綱

川獺や肥ゆる雀に秋の風　平城

童謠詩人 島田忠夫論

文學士 加藤輝雄

三

○背戸

朝まで月のある空に
雁はながれて水のやう
ごまの島にのこる花
秋にさむい背戸の風
顔を洗うて桶のみづ
すてれば蟲の聲がやむ
（大正十五年頃）

○お牛

觀音さまがお通りになるのを見たとお牛はいふのです。
觀音さまは雲に乘り日ぐれの空をとほられる
お牛がうたを唄うたら上から花を投げられた
お牛十三親なしで村に育つた呆け娘
呼べば鼻ん棒舐めながら赤ん目をして逃げてゆく
（昭和二年頃）

○雛

辻の祠の薺ぐさ
古い雛がすてられて
田圃にころろ鳴く田螺
雛はとろりひる寢して
夜はかなしや女夫びな
お仙の夢にたちまする
（昭和四年頃）

○雛の宮

赤く大きな落日
二尺位もあらうよ
坂の下の雛ノ宮
枯木のなかに點く電燈
あたりは冬の靄こめて
そろそろ街が雀いろ
（昭和五年頃）

拈華微笑

◇長者議員選擧漸く迫る。成り金が盤上を縦横馳騁する奮戰期
◇在京有志が遙かに支持。矢張り血は水よりも濃かつた
◇北堂の死を除き昇進榮轉で芽出た芽出たの若松
大佐講演會
◇文字通り粒々辛苦の繭を飲んで終つた男
◇長月二日。暑熱尚ほ九十度
○……○

講談 お蘭陀お蝶

(123) 渡邊默禪作　布施長春畫

此の機敏にして周到なる處置振りは流石に幕府の大使として一城を守る程の人物だけあると、後になつて賞讃された。

今や大阪市中は全く臨戰區域に化した泰平二百年に人は耳に銃音を聞かず目に劍の光を見ず、酒よ女よと荒み切つた夢を破られ突如として驚くべき兇變出來したのである、市民は肝飛び足戰いて成す所を知らず、家財を擔ぎ妻子をたすけさながら大風に吹き散らされた木の葉の如く紛然として東西に逃げ迷ふ

第一の衝突戰は天神橋に於て開かれた

×

三好屋の娘、お吉は梅屋敷から戻つて來てから一層お柳を憎むの念が募つた、彼の女さへ居なかつたなら戀しい男と夫婦になれるのに、出拔いて横取りするとは恩も、義理も、辨へぬ人非人奴、と思ひ詰めると氣がいら〳〵して居ても立つても居られぬ程だつた其の刺戟でか少し精神に異狀を呈した様にも見られ、時々調子外れた事を口走る樣になつた、

剝ぎ奪つたお柳の着物を其の儘持ち歸つたが、誰からも教へられたともなく肌身に着けた物を呪ふと屹つと効驗があると云ふ事を聞いてゐたので、其の晩から右の衣類を人なき部屋にひろげて火鉢に燒き爛らした眞赤になつた火箸を袖といはず肩といはず、つぶり〳〵と差し込んで一生懸命でお柳を呪ふてゐた

と、其の日の晝頃足音急はしく駈け込んで來た乳母のお各が障子をがらりと開けるより早く

『お、お嬢さま、た、た、大變でございますよ』

と叫ぶ下からばつたり其處で顚がつた

お吉は其の聲も耳に入らぬらしく片肌ぬぎになつた襦袢の袖から眞白な腕を出して力一杯に握りつめた燒火箸をぐつさと着物に突き刺してはぶす〳〵と噴き出す煙を見下して、さも心地好さぞうに笑つてゐる、こわれかゝた結綿の根からばらりとこぼれた毛すじを白齒に咬みしめ、蒼味さした顔の眼色も尋常ならず燒穴だらけの着物をぬつとりと睨む有様が身毛のよだつ程凄かつた。

『お嬢さま、た、た、大變で、か、か、火事と戰爭が一緒くたに押始まつて町が大騷ぎでございますよ!』

お各は苦しそうに胸を叩きながら摺寄つて來たが喫驚して

『まあ、お嬢さま、とんだことをなさいますな、何です其の眞似は？』

其の着物を見るとお柳から剝ぎ取つて來た物なので

『あらつ』

とばかり身顫ひした

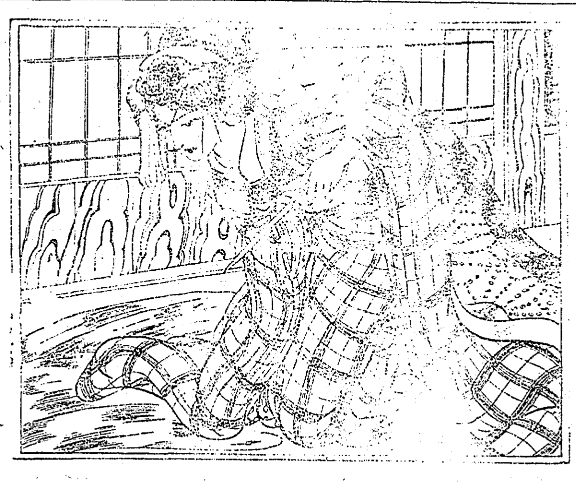
『お〻婆や』

お吉はやつと我に復つたやうにお各の方を振り向い

『ね、私、く、く、口惜しい!』

といきなりしがみ着いてお各の膝へ泣きくづれた

『そ、そりやもう御尤樣でお祭し申しますが……お嬢さま、それよりも大變なことが……火事、大火事でございますよ、天滿の方が今燒けてる最中で、いくさ、いくさ、いくさが押初まつたんですとさ、ソーラお聞き遊ばせ、ズドン〳〵と音がいたすでせう、あれが鐵砲を打放なすんです……あつ……危い、まだそんなものを持つてゐらつしやる、さあお放しなさい、燒火箸なんぞで突きまわして、まあどうなすつたんでせう……エ、口惜しいのは御無理もございません、さら〳〵無理はないけれども、そんな眞似をなすつたら却つてお氣のむすぼれる種、第一お身の毒ですわ、まあ放しなさい、火傷でもなさると大變です』



磐女新級長

今學期から代つた磐城高女の各學年正副級長次の如し

四年1鈴木アイ、半谷まさよ　2根本まさ子、荒垣トヨ　3橋本テル、野原みさ子　3猪狩きよ子三森よし　三年1山本まさ、佐藤アキ　2森榮子渥美トシ子　3佐藤シヅエ、鵜沼すさよ　4田中さい、大川せつ子　二年1田崎フミ子、土井瑞子2鈴木サタ、赤塚千代子3生田トシ子、佐藤キヨ子　4有坂トシ子、大島ゆき子

平青訓生募集

平青訓では明三日から訓練を開始すると同時に新入者の大募集をなすと

保護者會 活動上映

後任會長も詮衡

平保護者會では昨一日午後七時から第一校庭で臺灣風物、東京震災、宮中觀菊の狀況實寫を催したが立錐の餘地ないまでの見物人で賑はつたと尙ほ同會では會長永山和平氏の辭任により四日午後一時から後任決定の理事會二時半から評議員會を開くと

濱三郡中等校聯合 演習

經費關係で撤回か

今秋適當の季を選み双葉郡に於て濱三郡中等學校聯合の發火演習を行ふべく地元双中で計劃中であつた該案は配屬將校會の話題に上つたに止り平商、磐中でも一人平均一圓五十錢を要する事とて經費等の關係から實現不可能と觀られてゐると

日用品物價

平町役場調査今二日現在の日用品物價左の如く調査十種中騰貴一下落一保合八の割合である

（括弧內は前回）

白米上一キロ一五五厘（一六〇）中一五〇（一五五）下一四五（一五〇）白麥六五　平麥一〇五　味噌並一貫匁五〇〇　醤油一升三五〇　淸酒並一〇〇〇　木炭一貫匁楢丸一六〇　楢割一四〇　雜丸一五〇　砂糖白百匁一五〇（一三〇）赤一二〇（一一〇）豚上三〇〇、並一五〇、牛上四〇〇、並二五〇

平町慶弔錄

△出生

南町六九栃木縣鹽谷郡京連川町本町二〇四齊藤堅次郎二女泰代　南町二九山崎元三郎次男あきら　れ宜町七千葉縣千葉郡譽田村野田六四松岡佐留六女きみ子

△死亡

八幡小路二八箕輪村大利伸田七八新妻雅英(五)　六人町一一福井縣大野郡大野町大野南部豊吉(六八)

舊八月三日　土曜　丁卯　佛滅　危　女宿　九月三日

諸判定應需　東京市本郷區湯島四丁目五番地　高島易斷總本部　神誠館

▲一白の人　新計畫はみ合せて定業に骨折るべき日なり▲二黑の人　元氣旺勢にて向ふ所敵なく勝利な掉する日▲三碧の人　諸事愼重に畫策すれば成功の城に達すべし▲四綠の人　信望大に加はり重任を荷ひて責を全ふし得▲五黃の人　月光くもに遮らるゝも忽ちかうかうと輝くが如し▲六白の人　地の利は有れどいまだ時を得ず計畫不利なり▲七赤の人　半途に障害の起り易き日普請開業後難あり▲八白の人　甘言を却けじ信に向つて邁進する時は大吉▲九紫の人　くわしやを愼しみ萬事を地味に處理するが安全

ラヂオ

……三日…〔土曜〕…

仙臺 JOHK

△前六、〇〇A　ラヂオ體操
△六、三〇B　家庭教育講座（子供の生活の見方）廣島文理科大學教授文學博士久保良英
△七、三〇B　エスペラント講座　進藤靜太郎
△九、〇〇A　氣象
△九、一〇A　オリムピック派遣日本選手横濱歸着狀況（横濱岩壁より中繼）
△正午A　時報　氣象
△後〇、〇五A　俚謠（一、江差追分　二、上州小唄　三、丹後宮津節　四、新ドン〳〵節　五、米山甚句　六、博多節　七、木曾節）
△〇、四〇A　ニュース
△二、〇〇A　婦人講座（職業婦人に就て）市川源三
△三、四〇A　氣象
△四、〇〇A　ニュース
△四、〇〇A　東京市主催日本オリムピックチーム歡迎報告會狀況（式次…市歌＝市長歡迎辭＝記念品贈呈＝米國大使＝文部大臣祝辭　答辭＝岸大日本體育協會長―報告＝各代表選手　國歌吹奏＝陸軍々樂隊＝萬歳）日比谷より中繼
△六、〇〇A　（子供の時間）童謠　銀杏子供會々員　ピアノ伴奏長谷基孝
△六、二〇A　コドモの新聞　村岡花子
△六、二五A　カレント、トピックス　ハロルド、パーマー
△六、三〇T　山と海の講座（日本平より見たる清見潟）田中秀夫
△七、〇〇A　ニュース　氣象　生繭相場
△七、三〇A　講演　内務大臣男爵山本達雄
△八、〇〇B　名曲定期演奏　ヴアイオリン…アレキサンダー、モギレフスキー　ピアノ…レオ、シロタ
△八、三五　尺八（阿字觀）源雲界　田村紫竹
△八、五〇A　連續浪花節（水戸黃門記）春日亭清吉
△九、三〇A　時報
△九、三一A　滿洲より（空中より見たる馬占山軍の末路と北滿の大洪水）航空兵大佐辻邦助
ニュース　氣象　生繭相場

淋藥界の最高權威
無効返金（二日間服効なき時は殘藥引替に全部返金す）
別府淋藥
一週間…赤箱―金五圓　黑箱―金參圓
世界の名湯別府温泉で名高い。岩里家の家傳祕藥は男女血ウミ、コシケ、淋病消渇に奇績的効果ありどんな頑固な痳疾でも短時日に根治が出來且つ再發することなく注射や他藥で治らぬ諸賢は最後の藥として迷はず……名藥別府淋藥の御服用に依り幸福を得られん事を希望致します。

別府皮膚藥　金三十錢　金五十錢
天下の名湯別府温泉のラヂウム含有の精に各病醫院及最高學府の處方劑集め大成せる皮膚病特効藥であります、たむし、いんきん、みつむし、なます、しらくも等其他皮膚病に卓効あり。
九州別府市鶴乃園　岩里天然堂
平町三丁目北裏通り
代理店　渡邊いと
（特約店募集）

タクシーの御用命は是非…尼子タクシーへ
親切安全第一を主義と致して居ります
電六四〇番
主任　澤資之（正路改）

高久病院（電話五一三番）
平町田町
醫學士 高久忠　新潟醫學士 赤羽清　藥劑士 佐竹菊雄
内科　外科　小兒科　耳鼻咽喉科　花柳病科　レントゲン科

生花教授
池ノ坊流　生花を懇切丁寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。
平町四丁目和泉屋旅館
須藤まつの

内科、小兒科　花柳病科　入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平一長五〇七番

尊敬する先輩を落すな
在京磐城出身少壯有志が金成多額議員候補を支持

三猛夫が鼎立して二度を逐ふ縣下の多額納稅議員選擧は愈々一週日の目睫に迫り各候補とも最後の五分間に於ける猛烈な巴狀戰を演じてゐるが、金成氏今回の立候補は從來何彼と氏の恩顧を受けた在京磐城出身有志間に少からざる衝動を與へたものの如く去る三十日付を以て有志代表在京帝大傳染病研究所內上小川出身醫學士草野與平氏から地方各方面へ左記推薦狀を發し極力應援方を求め來つた

前略――事業家としての金成通氏は既に定評があります、（中略）且他方に於ては福島縣農工銀行重役として地方金融界の爲めに獻身の奮鬪を續けて居ります。氏は又、夙に敎育方面にも意を用ひ、研學の志を有するも學資に恵まれざる者を援助して其業を遂げしめ現在も之を繼續して育英事業にも尠少ならざる貢獻を致して居ります。更に氏を政治的方面より觀れば、既に縣會議員を二期務め地方政治家として確固たる衆望を擔ひ、今後は中央政治に於ける活躍を萬人から期待されて居るのであります。氏は單に地方有力者として聲望をのみ有するに止りません。氏の地方に於ける事業的手腕、政治的才幹は、中央に於ても認めらるるに至り、今や中央の政界、實業界には數多の有力なる先輩知友を得て居り、將來大なる活動を爲すべき基礎は動かす可らざるものがあります。加之、氏は人格高邁、識見卓拔如何なる方面より觀るも國家の選良として申分なき人格者と信じます。我國は現在未曾有の國難に際會してゐますので、有爲の材に俟つこと誠に痛切であります。平時に於ては凡人を以て足れりとするも現時の如き非常時に於ては、非凡人でなければ能く其任を果し得ません。平日何等爲す所なくして日を曠しうする如き人物は、非常時を負ふて立つべき者に非ずして正に金成通氏の如く、幼少より刻苦精勵、よく今日の大を爲したる人物こそ適材と稱すべきであります。吾等は常に氏の人格、手腕、經歷等に滿腔の敬意を表してゐますので氏が地方に於てのみ活動する事を氏の爲めにも國家の爲めにも遺憾に存じ、何時かは中央政界にも進出して、邦家の爲盡力さるる日の來らん事を鶴首して待つてゐたのであります。而も曩に衆議院議員候補者として三度迄も豫選會に全會一致にて當選したるにも拘らず是を固辭したるは、其意は甚だ諒とするも邦家の爲め地方の爲め將又氏の爲めに惜しんで居りました。其氏が此度の貴族院議員選擧に敢然として出馬されたのは、非常時日本を思ふの一念の迸りであります。然るに、最近新聞紙其他の報道に依れば、戰況は樂觀を許さずとの事にて寔に憂慮に不堪玆に、私共は相集り相謀りて故鄉の貴下に訴へ貴下の御援助を得是非、當選せしめ度く蕪辭を顧みず伏而懇願申上ぐる次第であります。

八月三十日

在東京磐城出身有志

代表者　醫學士　草野　與平

產業組合中心に自力甦生を急ぐ
着々陣容整ふ

郡產業組合では農村の自力甦生上各組合の活動を促す一方極力休止狀態に在る組合の再建に努力しつゝあるが大野村では昨一日午後一時から小學校に設立委員會を開き協議の結果休止同樣に在る現在の信用組合を解散し强力なる組合を新設する事に決定今二日から組合員の勸誘を開始した外赤井村信用購買販賣組合では六百口資本金一萬二千四百圓を以て縣に認可申請中一兩日中認可さるる事に決定した尙十九日午前九時から平團体事務所で購買事業促進協議會を開き既設組合の肥料配給改善、購買組合擴充日用雜貨取扱等の活動を促進させる事となり各方面と呼應中である

滿洲行
藤田中尉
—第六十四信—

南嶺砲兵營の夜襲

◇南嶺砲兵營の襲擊を命ぜられた黑石少佐の指揮する步兵第四聯隊の第五第七中隊とMG二挺それに傳書鳩六は意氣天を衝くの勢を以つて午前三時十分步武堂々兵營を出發し午前五時砲兵營北方約二百米突の地點に達し砲兵第一大隊の兵營に頑强に抵抗する敵を擊破しながら北方及西方の門から阿修羅の如く斬り込んだ第五中隊は

◇西北端附近で敵からの猛射を受けたが應射する遑もなく白兵以つて一擧に突入し營內の敵兵を掃蕩した敵はけなげにも小銃、拳銃を以て强靭に應戰はしたが終に南方の門から逃亡逸走した、即ち我兵は敵の砲兵營を占領し野砲十六門を破壞した。次で第二大隊兵營に突入せんと企圖したが其園壁の堅固さと左側兵舍からする敵步兵の

◇十字火を蒙り、而も天既に明けて前進頗る困難に陷つたので一時强襲を見合せ大隊は一旦西方一吉米の遠家窩棚村落に引揚げ兵力を集結し、負傷者の手當部隊の整理をなしたのだ時に午前八時二十分、頓しも西方より急據馳せ參じた友軍あり、是れぞ公主嶺駐屯小河原中佐の指揮する獨立守備步兵第一大隊の第二第三中隊（各中隊より

◇混成步兵砲隊、機關銃小隊、通信班を附す）三百人である。小河原中佐はこの朝命を奉じ午前六時二十一分駐剳地公主嶺を出發長春の手前の驛孟家屯に下車し南嶺に向ひ前進同九時頃遠家窩棚に達し先きに砲兵營を奪取して後圖を策せる黑石大隊とこゝに相會し協議忽ち一決して步兵營を攻擊することゝなつたのである即ち午前十時十五分

◇夫々展開し獨立守備步兵第一大隊は右翼第一線となり東南方より敵の退路に迫るの隊勢を取り步兵第四聯隊第二大隊は西方より攻擊前進を始めた、左大隊第一線部隊は繁茂せる高粱を巧みに利用しつゝ午前十時四十分頃敵前四百米に近接すると敵は堤防の線から一時に小銃、大砲、追擊砲の集中射擊を開始した、然し彈丸は頭上をピュウ〳〵飛び去り

◇砲彈は散兵壕の背ろに落ちるばかりである、此時とばかり第一線は早駈けして一氣に練兵場の開擱地を前進一擧に支那兵の據れる堤防の西側死角に駈けつけたこゝに彼我手榴彈の爆彈戰は演ぜられ戰鬪は漸次激烈となり死傷者續出するに至つた、午前二時頃である。一方右大隊は凹地と高粱を利用し迂回して比較的容易に兵營東南地區

◇敵前百米附近まで近接するを得たが爾後園壁より二三十米の距離で既設銃眼よりの敵火に制せられ園壁に取りついた者も之れを越ゆるを得ざるのみならず數回の逆襲に逢ひて苦戰し小河原大隊長先づ傷づき、倉本大尉戰死、芦田特務曹長斃れ、武田中尉負傷し、下士卒亦死傷續出、第三中隊は殆んど全滅するに至つた。

尙ほ終熄せぬ 豚コレラ

郡下の豚コレラは更に終熄の模様なく昨一日は小名濱五、江名二計七頭の發生を見るに至り益々蔓延する氣配であるが之は飼養者の發見が遲く報告を受けて係官が出張した時には既に手の施し樣がなかつたのと豫防注射が高價なため全般に行はれなかつた爲で飼養者は安値とコレラと腹背の脅威に大恐慌を來してゐる

豫防警戒策

昨縣報で禁令告示

勿來町大字窪田、酒井、白米區域は豚コレラ豫防の爲め當分豚の出入往來屍体若くは病毒傳播の虞ある物品の運搬を禁止する旨昨一日附の縣報で發表された

若松大佐軍事講演
十日頃平町で開催豫定

日支事變に際し滿洲の野に轉戰し鬼中佐の異名をとつた仙臺騎兵第二聯隊長本郡赤井村出身若松晴司氏は過般の定期異動により大佐に進級し千葉縣千葉郡陸軍騎兵學校敎導隊長に榮轉したが此程母堂の本葬を營む爲歸省するを機とし來十日頃平町の軍人關係團体主催の下に軍事講演を開く豫定であると

淺野翁記念館上棟式
明後四日の吉日をトして
來月下旬竣功の豫定

前磐炭社長淺野翁の德を永遠に追慕記念する爲所長以下全山從業員の醵出を基本として先月初旬來綴驛前に新築工事中であつた淺野翁記念會館は工事極めて順調に進捗し來四日の大安日をトし午後三時から神官（縣社湯本溫泉神社佐波古社司）の修祓祝詞棟梁（田中組吉川久太郎）の祝詞、關係者一同の玉串奉奠、菅原鑛務所長の挨拶、神酒開き、投餅の順序により上棟式を行ふ事となつたが竣功は來月末の見込みであると、因に同館は洋式百五十一坪の平二階建工てゞ費一萬七千圓の堂々たる建物である

救濟に氣を揉む 磐中篤志奬學會
今學期から補給生二名を增す

磐中篤志奬學會では生徒中に極めて同情すべき狀態にあるものが漸次發見され既報の如く十名を限度として救濟すべく今學期から定員五名の處を七名に支給する事となつたが中には兄弟三人暮しの某生徒の如き炭鑛から受くる長兒の收入二十圓で殆ど食ふや食はずの狀態にあり乍ら燃ゆる向學から通學してゐるやうなのもあると

退學者續出
深刻な不況の反映

平町各中等校生徒にして去月中家庭の事情から退學したものは磐中、平商各三名磐女四名で右は炭鑛の休山整理等を始め漁農村の疲弊を最も深刻に反映したもので當局では其間の匡救に頭を惱めてゐる

台灣蕃兒の成績品
寄贈を受けた第二小學で
けふ全校兒童に披露

平第二小學校へ此程台灣生蕃角板山敎育會から檳榔樹に畫いた水彩畫二點の兒童成績品が寄贈されたので今二日全校兒女に觀覽させた

地方繭市況
昨一日分
四倉の最高四十八圓に騰る

昨一日の繭市況左の如く最高四十八圓買馴四十三圓にまで暴騰し益々强氣配を含んで居る

四倉　白貫數千六十九貫最高四十八圓、最低三十五圓、買馴四十三圓、掛目四十三、黃貫數百十三貫、最高四十四圓、最低三十九圓二十錢、買馴四十二圓三十錢

植田　黃貫數千二百五十貫、最高四十二圓五十錢、最低三十八圓九十錢、買馴四十圓五十錢、掛目四十

轉がり込んだ繭代に地方農家の惠比須顏
貫當りの純益十四五圓

郡下の繭市況は初取引以來鰻上りの高値を見せ昨今は平均四十圓台を下らず今秋の蠶の生產費概算二十六圓五十錢を差引き十三圓五十錢の利益あり一戸の收繭十貫見當と見て百三十五圓位の收益ある譯で此の高値が晚秋蠶取引終了まで續けば數年來の欠損が完全に補塡さるべく地方の一般養蠶家は非常な意氣込みを以て今後の騰貴を待望してゐる

太平洋橫斷 報知機出發

報知新聞社の太平洋征空三段構への飛行計畫は今春既に名越大尉が斃れ吉原飛行士また傷ついたが殿を承る本間中佐、馬場操縱士、井上無線技手は第三報知日米號により來る十日以後天候良好の日を選んで淋代を出發北太平洋橫斷飛行の壯途に上ることになつた航空路は淋代、落石、ロパトカ岬、ナバリン岬、ノーム、フエアバンクス、ホワイトホース、ハゼルトン、シアートル、桑港に至る大圈コース、所要五日間の豫定

平署員異動
猪狩名刑事は部長に昇進須賀川へ

今回行はれた縣下警察官の異動中平署關係左の如く中にも部長に昇格した刑事猪狩勇次郎氏は在勤滿五ヶ年中の檢擧件數千二百餘件に達した腕利きだけに內外から非常に惜まれてゐる

須賀川へ　刑事部長　猪狩勇次郎
須賀川へ　特高同　磯目要助
福島へ　同　佐藤理助
特高へ　山林同　佐々木金藏
福島へ　巡查　栃本信惠
須賀川へ　棚倉巡查　福田憲二郎
巡查部長を命ず　福島部長　保住季親
小野新町巡查　草野高志
飯坂同　柏木萬吉
三春同　芳賀平三郎
平署勤務

平職業紹介所去月中成績

平職業紹介所去月中の成績は

種別	男	女	計
求職	一四九	一四	一六三
求人	八二	二二	一〇四
就職	七九	二	八一

で前月と比較して求職六十、求人三十四、就職五十三を增し昨年同期よりは求職六十、求人三十六、就職二十の何れも增加で成績良好である、尙製糸業界の好轉其他から二十才前後の女は寧ろ供給不足であるが男は依然思はしくないと

粒々辛苦の百五十圓
市場歸りに平で脫線
妻から其筋へ搜索願

双葉郡大久村大久農齊藤甚太郎（三八）は去月三十日四倉町の繭市場へ賣つた粒々辛苦の繭代金百五十圓を持つて平町の知人と飲み廻つて居る事が判つたので昨一日妻ハルから平署に搜索方を願ひ出た

詩南車で訴願提起
マンドリン會の課稅問題縺れる

既報―過般マルトモホールで催された詩南社主催湯本マンドリン俱樂部後援の演奏會に對し町役場では縣稅賦課規則第二十九條の所謂演技、遊覽其他興行に對しては會費其他名儀の何たるを問はず入場せしむる爲に取得するものは總て之を入場料と見做すに據り縣稅一圓五十錢、町稅附加稅一圓、計二圓五十錢を賦課したので課稅を受けた詩南車では右は會員券を前賣りした會員組織の催しで不當の課稅であるとなし近く參事會に訴願を提起すべく準備中であると

濱三郡小學校スポンヂ野球

濱三郡小學敎員スポンヂ野球大會は二十三日午前九時から平第一、平商各グラウンドに於て開催されるが參加二十校近く昨年は四倉校優勝し覇を握つたが平第一第二兩校では必勝を期して猛練習を行つてゐるがメンバー次の如し

	第一	第二
投	藤田（井上）	松本（熊谷）
捕	横田	渡邊
一	小林	野原
二	根本菊	米本
三	根本榮	熊谷
遊	水竹	玉手
左	瓜田	鈴本
中	上山	草野
右	松本	玉木

婦人子供博出品勸誘

明春三月中東京上野公園に開かるる社團法人三政會並に大日本聯合婦人會主催の萬國婦人子供博覽會に關し今二日磐女、幼稚園、三小學校、藤田、平陽女學校等に出品勸誘の通知あつたと

料理屋で弄花　內鄉村竹之內田村勇（三八）佐々木健治（四〇）外一名が今二日午前二時頃同字某料理店二階で花賭博開帳中平署員が踏込み一名を取り逃がしたので行方嚴探中である

佐々木誠君凱旋　今春二月海軍補欠召集に依り上海々軍陸戰隊に入隊活躍した平町八幡小路佐々木誠君は四日午後三時十一分平驛着下りで凱旋する事となつたので本日平町役場から在鄉軍人分會外各團体へ歡迎方の通知を發した

永山和平氏
廿日間の拘留

僞强盜の訴へで前後一週間に亘り縣警察總動員の大騷ぎを捲き起さしめた永山和平氏に對し今二日平區から拘留二十日の言ひ渡しがあつた正式裁判を仰ぐかどうか期間三日後に於て判明する

滯納地租整理　平町役場では今二日七年度地租附加稅人員九十三人、金額七百三十一圓八十四錢、特別地稅附加稅二人、一圓五十錢に對し督促狀を發した

『家の光』慰安會　郡產業組合では二十日頃機關誌家の光の購讀者慰安會を開くと

僞記者摘はる　平町柳町九菅野廣司（三四）は東京毎夕新聞記者と稱し平機關庫弓野主任外四名から廣告料として金四圓を領得し其筋に檢擧さる

素見客に喧嘩腰　好間村北好間坑夫金成利四郎（三四）外二名は昨一日午後十時頃泥醉して五色町遊廓を徘徊し素見客に喧嘩を吹きかけ平署員の說諭を受けた

漁業違反處罰　久ノ濱町字本町福神丸船主橋本宇三郎（三五）同船長二川丑二郎（三三）は機械底曳網漁業取締違反で五十圓▽小名濱町竹中重藏（四七）鈴木豊吉（三八）は同樣漁業違反で金五十圓を何れも平區から略式罰金言ひ渡された

過失傷害檢證　湯本町字辰の口自動車運轉手長岡美誠（三〇）が正式裁判を申し出た過失傷害事件の檢證は八日長岡廣、被害者箱崎進を證人として行ふと

遊廓荒しの公判　窃盜犯山形縣西田川郡加茂町大崩內藤鶴吉（三五）が平町字鎌田遊廓某方から金縁眼鏡を窃取した事件の公判は今二日午後から開廷された

季節御料理
柳川　一人前　金二十五錢ヨリ
うな丼　金三十五錢　金五十錢
蒲燒　金五十錢ヨリ
大鳥壽折　蒲燒料理　司詰
右大々勉强出前迅速
仕出し部
田町　魚榮　電話四二四番

安價で効果的な　天然加里肥
最も適應する作物!!!
◇蔬菜、馬鈴薯、里芋、しやうが類
ナス類ではトマト、ナスの如き比較的病害に弱い作物に施用すれば抵抗力を與へ落果を防ぎます。
天然加里肥は酸性でないから
如何に施用しても土壤を惡變する憂は絕對にありません。
一俵三十錢（大量取引は特に割引致します）
製造販賣　平町鎌田　金成國雅